

行政告知機能（お太助フォン）更新に関するアンケート調査結果

2025年2月10日 企画部 政策企画課

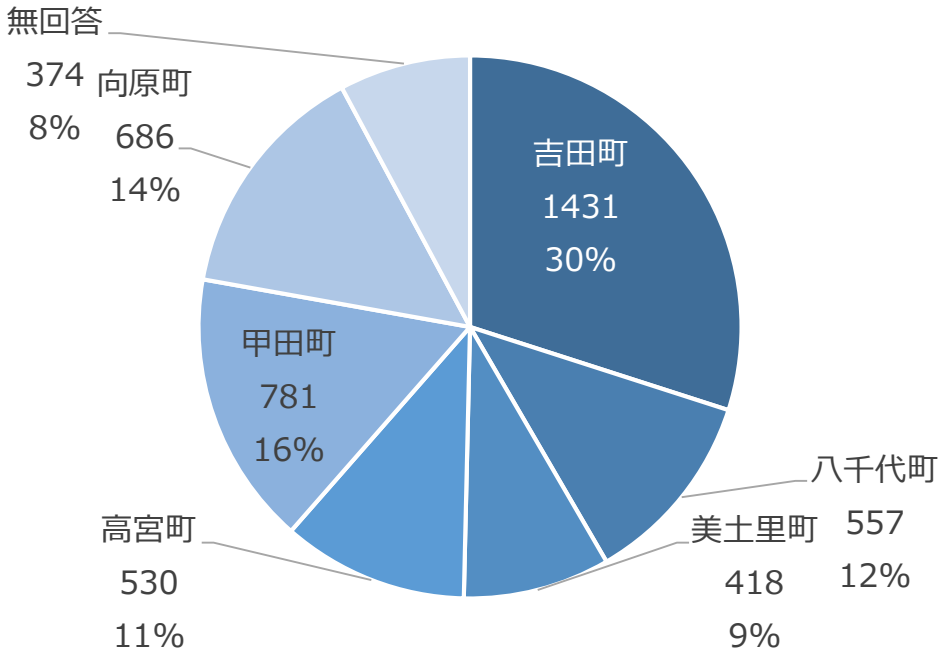
1.調査概要

目的	お太助フォン、携帯電話の保有状況及び更新後の機器の意向について確認する
対象	安芸高田市内全世帯
実施期間	2024年10月15日～2024年11月15日
方法	紙面：市内全世帯に調査票を配布 WEB：調査票にWEBフォームURLを掲載
配布数	12,551票
回収数（回答率）	4,777票（38.1%）（紙：4090，WEB：687）
内容	■ 回答者の属性及び携帯電話等の保有状況 居住地域、年代、携帯電話等の保有状況、インターネットの加入状況 ■ お太助フォンの使用状況 設置状況、視聴状況、通話機能の利用状況など ■ 緊急時の情報収集手段 ■ 更新時の機種

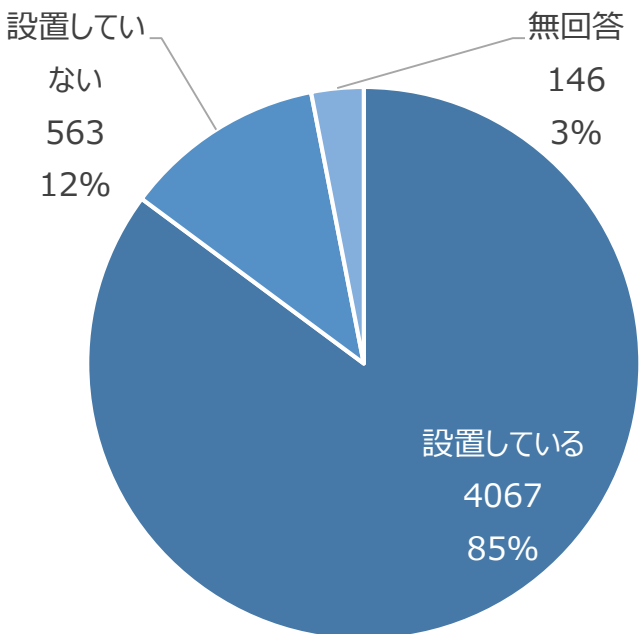
2.アンケート調査結果①（居住地域・お太助フォン設置状況）

○お太助フォンの設置割合が85%となっているが、実際のお太助フォンの設置世帯割合は概ね75%程度であるため、お太助フォンを設置している世帯の回答割合が高い。

【居住地域】



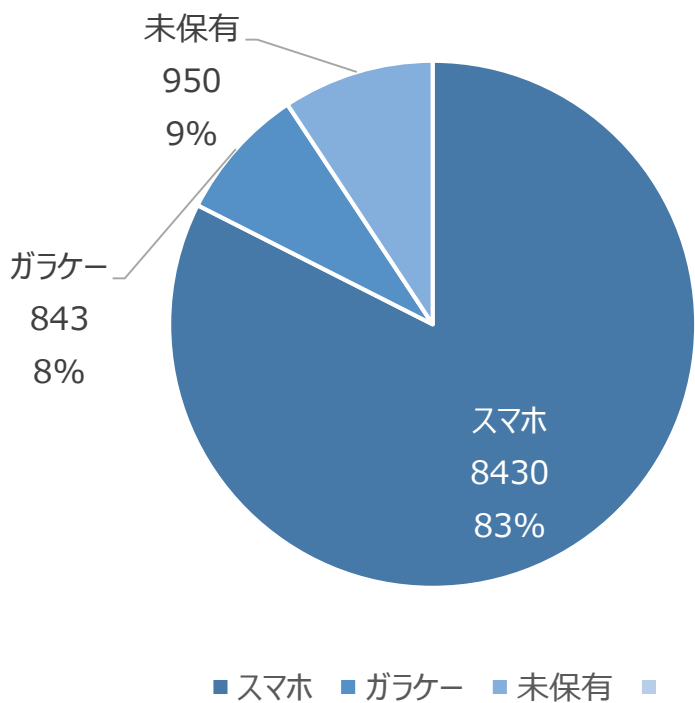
【お太助フォン設置状況】



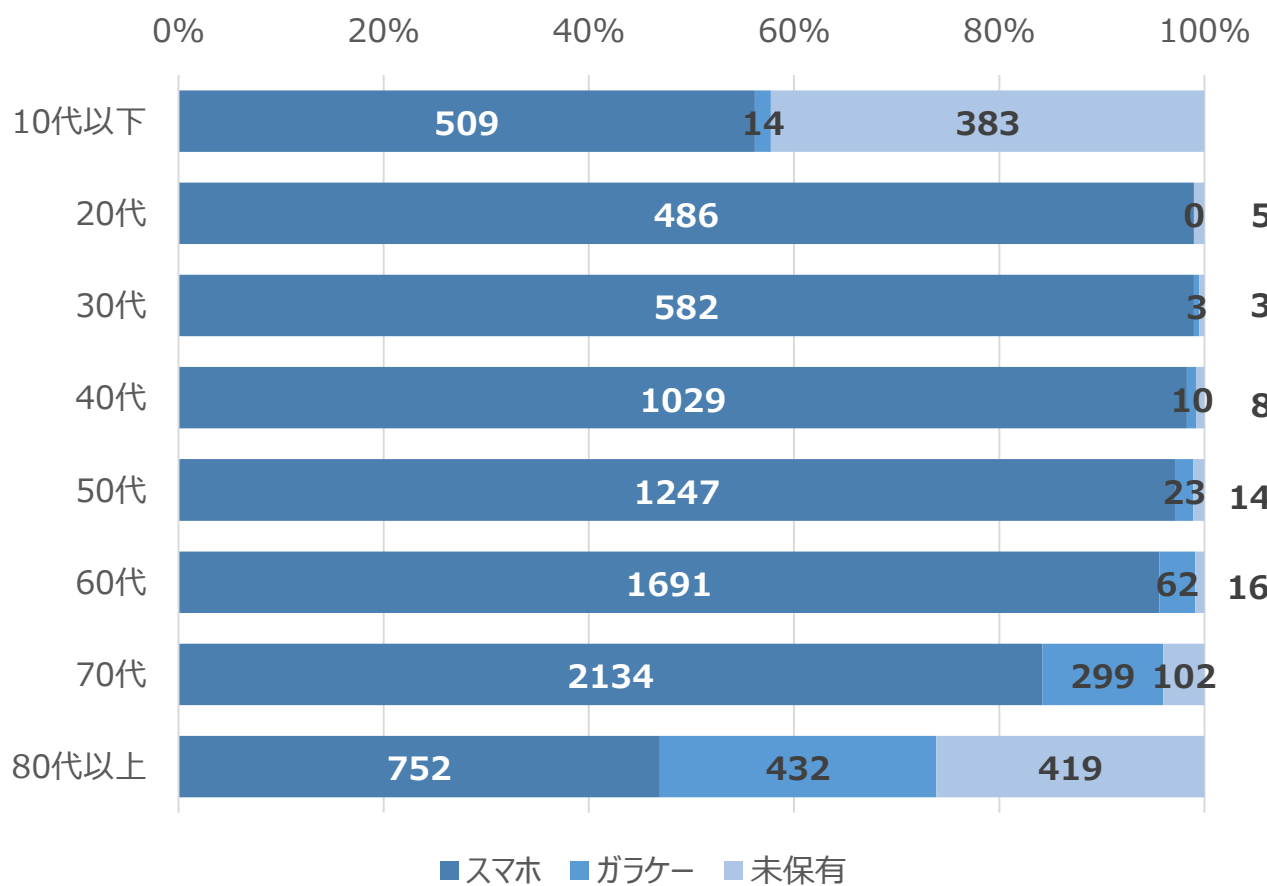
2.アンケート調査結果②（携帯電話等保有状況）

- 全体の83%がスマートフォンを保有している。
- 80歳代以上になるとスマートフォン保有率（約47%） が急激に減少する。

【携帯電話等保有率】



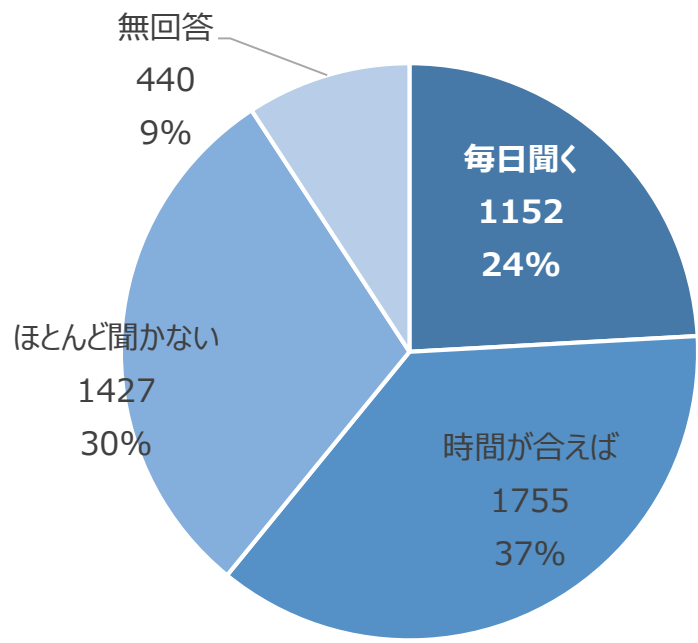
【年代別携帯電話等保有率】



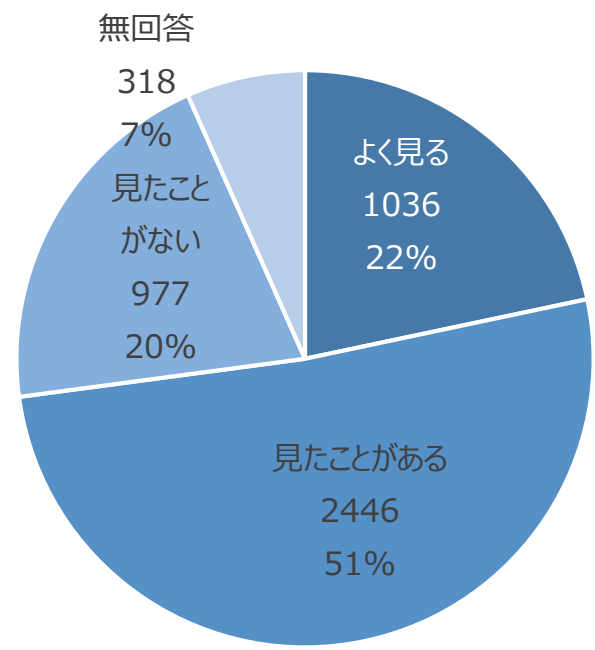
2.アンケート調査結果③（お太助フォン視聴・放送履歴確認）

- 毎日聞く（24%）、時間が合えば（37%）を合わせると約6割が視聴している。
- 一方で、放送履歴をよく見る世帯は、22%と少ない。

【お太助フォンの視聴状況】



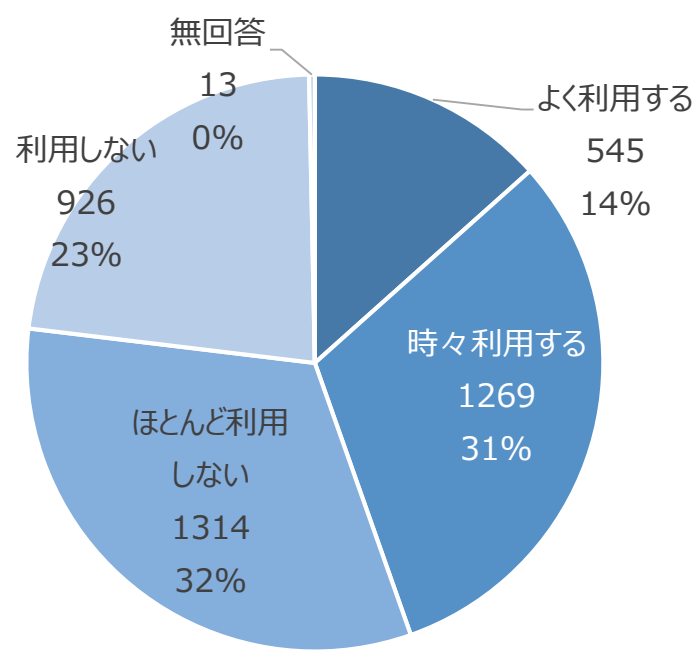
【放送履歴の確認】



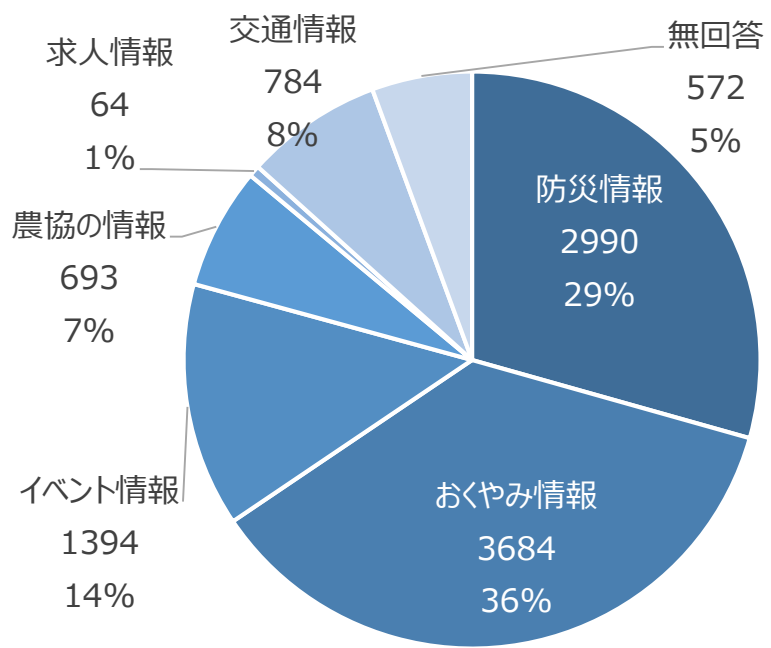
2.アンケート調査結果④（市内通話利用・必要な情報）

- 市内通話機能については、「よく利用する」、「時々利用する」を合計すると約45%が利用している。
- お太助フォンで必要な情報は、おくやみ情報（36%）、防災情報（29%）、イベント情報（14%）の順

【市内通話機能の利用状況】



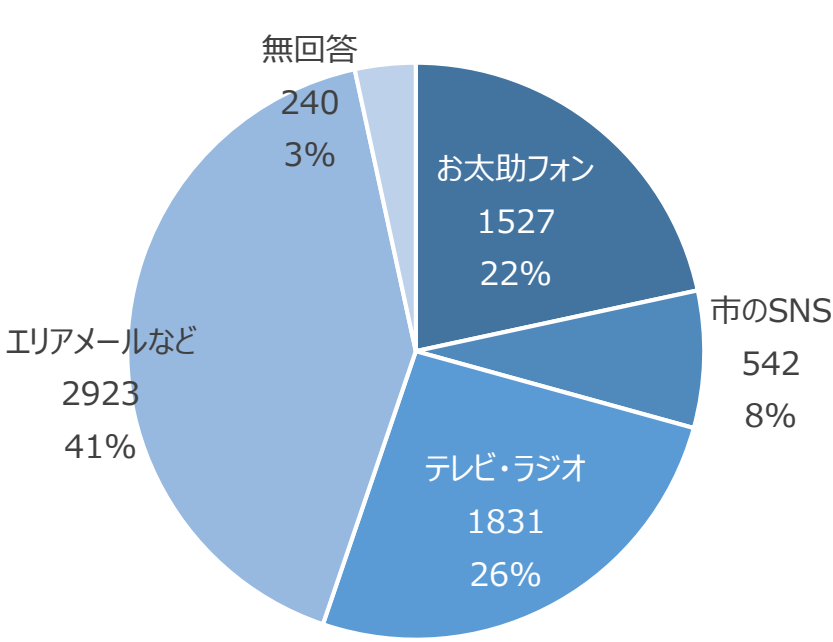
【お太助フォンで必要な情報】



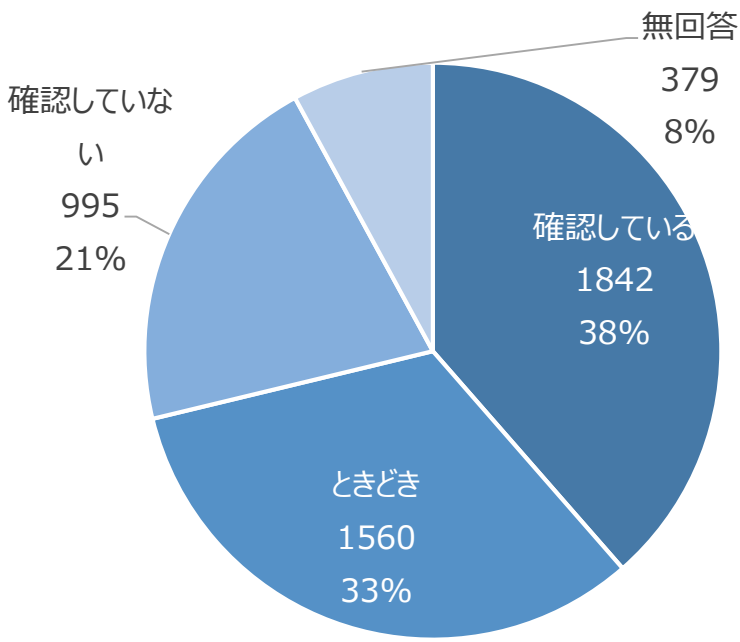
2.アンケート調査結果⑤（緊急防災情報の確認方法等）

- 緊急防災情報の主な確認方法は、エリアメール（41%）、テレビ・ラジオ（26%）、お太助フォン（22%）が高く、SNSでの確認は少数
- お太助フォンで緊急・防災情報を確認している割合は、「確認している」、「ときどき」を合わせると約7割と高い状況

【緊急・防災情報の主な確認方法】



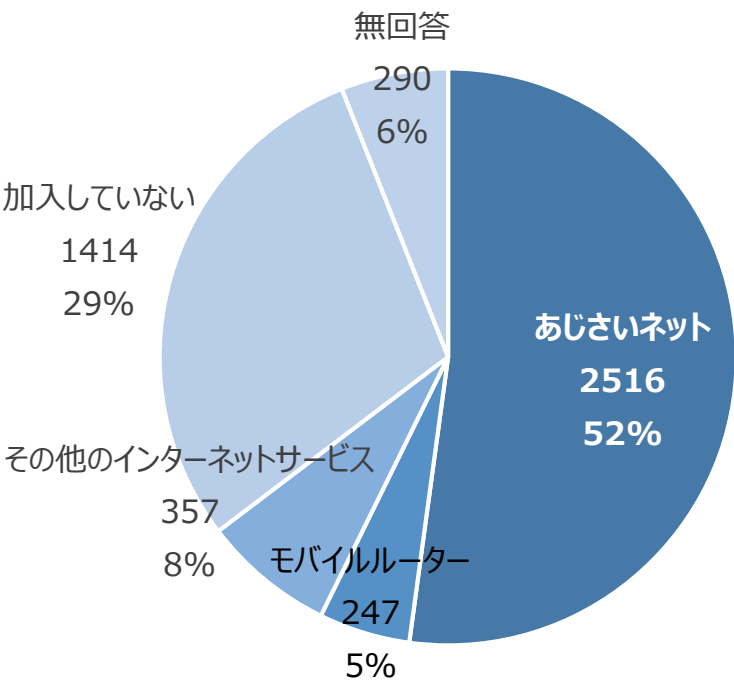
【お太助フォンでの緊急・防災情報の確認状況】



2.アンケート調査結果⑥（インターネット加入状況）

- あじさいネットの加入が最も多く、50%を超えている。
- 加入していない世帯が29%と高い割合を占めている。

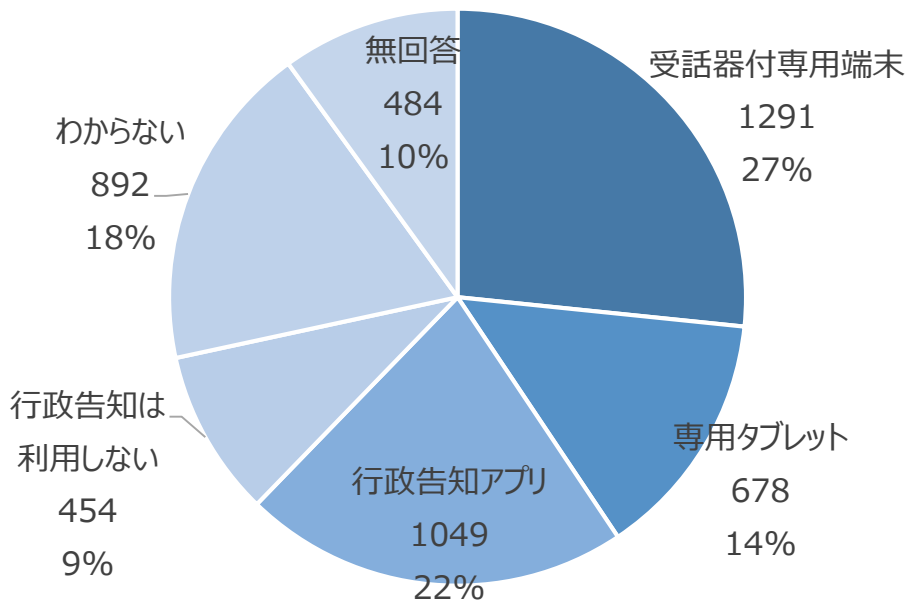
【インターネット加入状況】



2.アンケート調査結果⑦（更新時の希望受信方法等）

- 更新後の受信方法として、受話器付専用端末を希望する世帯が約30%と最も高い。
- 更新時に気になることとしては、金銭的な負担に関することが上位を占める。

【更新時の希望する受信方法】



【更新時に気になること】

